

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	活力ある土佐のみなとづくり															
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	高知県															
計画の目標	高知港の施設整備や施設改良を実施し、安全で使いやすい施設を提供することにより、物流機能の維持・強化による地域産業の振興を図るとともに、港湾利用者の避難場所、憩いの場を提供することにより、安全で快適な港湾空間を形成することを目的とする。															
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		280	A	280	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R6末）
1	仮設航路として一部未施工だった護岸部を締め切ること、小型船舶が係留可能となる波高を1.6m（護岸L=0m）から1.1m（護岸L=40m）まで低減させる。（R8事業完成時0.4m（護岸L=90m）波高	1.6m（R2）から1.1m（R6）		
	外郭施設の整備による港内の波高	2m	2m	1m
2	既存施設の改良を図ることにより、港湾利用者の安全で使いやすい施設（11施設）の改良達成率を0%（0施設）から36%（4施設）に拡大する。改良達成率	0%（R2）から36%（R6）		
	早期（5ヶ年）に改良が必要な施設の数	0%	9%	36%
3	高知港三里地区の高台緑地を整備することで、津波発生時の避難可能者数を0人から4,900人に目指す。避難可能者数	0人（R2）から4,900人（R6）		
	港湾利用者の避難場所、憩いの場となる高台緑地の避難可能者数	0人	0人	4900人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	一般	高知県	直接	高知県	重要	建設	護岸(防波) の整備	L=90m(高知港)	高知港・三里地区						140		-
		R1以前 A02-001																	
	A02-002	港湾	一般	高知県	直接	高知県	重要	改良	潮江4号岸壁(-7.5m)の改良	L=26m(高知港)	高知港・潮江地区						12		策定済
		R1以前 A02-002（統合）																	
	A02-004	港湾	一般	高知県	直接	高知県	重要	改良	東潮江第7岸壁(-7.5m)の改良	L=260m(高知港)	高知港・潮江地区						36		策定済
		R1以前 A02-003（統合）、R4以降補助																	
	A02-013	港湾	一般	高知県	直接	高知県	重要	建設	高知新港高台緑地の整備	A=27,485m2(9,250m2)(高知港)	高知港・三里地区						92		-
R1以前 A02-020																			
										小計						280			
											合計						280		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
高知県土木部にて事後評価を実施	令和7年12月
	公表の方法
	高知県土木部土木政策課のホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	高台緑地の整備により、津波発生時の避難場所としての基盤が整った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
護岸（防波）及び高知新港高台緑地の整備についてはR5年度より、「安全安心な土佐のみなとづくり（防災・安全）」に移行。 報告対象外施設については東潮江第7岸壁（-7.5m）の改良同様に「統合補助事業（港湾メンテナンス）」に移行した事業若しくは、事業計画の見直しを行った。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	波高 1.6m（R2）から 1.1m（R6）		
	最 終 目標値	1m	計画途中で「安全・安心な土佐のみなとづくり（防災・安全）」に移行したため
	最 終 実績値	0m	
2	改良達成率 0%（R2）から 36%（R6）		
	最 終 目標値	36%	計画途中で「統合補助事業（港湾メンテナンス）」に移行したため
	最 終 実績値	9%	
3	避難可能者数 0人（R2）から 4,900人（R6）		
	最 終 目標値	4900人	計画途中で「安全・安心な土佐のみなとづくり（防災・安全）」に移行したため
	最 終 実績値	3364人	

(参考様式3) (参考図面)

